

千代田の大奥

画・楊洲周延 編著・山本勝美
(ようしゅう ちかのぶ)

A4変判 172頁 定価：本体30,000円＋税 ISBN978-4-88683-951-0

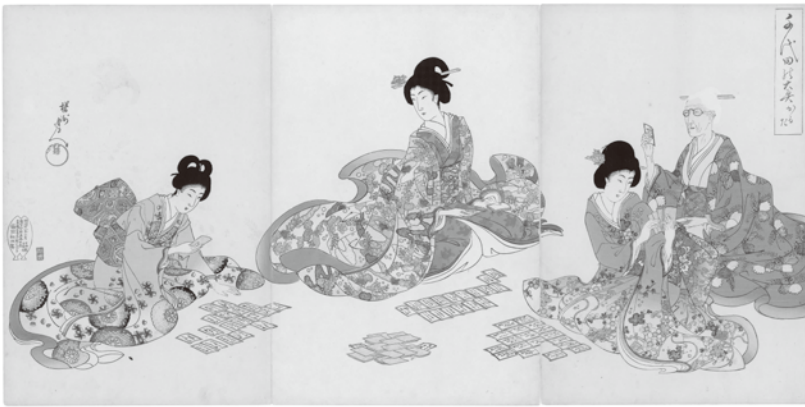
明治最後の浮世絵師・楊洲周延が描いた江戸城大奥の日常傑作「千代田の大奥」作品集。一組3枚続の浮世絵をカラー・Z折りで一幅の絵にした40組の連作を収録

楊洲周延は江戸時代末期から明治時代にかけての浮世絵師。3枚続の風俗画を得意とし、周延の描いた一連の女性画の浮世絵が発表されると、評判を呼び、一大センセーショナルを巻き起こした。そして「千代田の大奥」により、一気に明治浮世絵界の人気絵師に駆け上がる。約二七〇年に及ぶ江戸時代のそれぞれの時期の女たちをノスタルジーたっぷりに描いた「時代かがみ」や新しい女性の美を描いた「真美人」などを発表。その人気を不動のものとした。



《本書の特徴》

明治期に一世を風靡した「千代田の大奥」が、前代未聞のカラー・Z折り40頁（1組3枚が一幅の絵に）＋解説、全体172頁の豪華・特殊製本でよみがえる。



作品名：かるた

楊洲周延 展覧会開催

町田市立国際版画美術館にて、「楊洲周延—明治を描き尽くした浮世絵師」を2023年10月7日より12月10日まで開催。

書店印

冊

注文（返品不可）

千代田の大奥

定価：本体30,000円＋税 ISBN978-4-88683-951-0

ご担当

画・楊洲周延 編著・山本勝美

FAX03-3261-3237

同時代社 担当：高井
東京都千代田区西神田2-7-6
TEL03-3261-3149